

# 静岡県立富士高等学校

## 令和4年度 学校経営計画書

### 1 目指す学校像

#### (1) 教育目標

校訓「克己心身を練れ 勤勉実力を養え 至誠事に当れ」のもと、100年もの長きに及ぶ伝統や地域における本校の役割を踏まえ、「社会の発展に寄与するために、主体的に学び続ける人材を育てる」ことを目指す。

#### (2) 卒業までに育てたい8つの資質・能力（富士高エイト）

①視野の広さ ②主体性 ③行動力 ④論理的思考力 ⑤協働性 ⑥協調性 ⑦柔軟性 ⑧傾聴力

#### (3) 目標具現化の柱

ア 十分な知識と技能を習得させ、思考力・判断力・表現力や主体的に学習する力を身に付けさせるとともに、他者と協働する活動を通して、「知・徳・体」のバランスがとれた人材を育成する。

【富士高エイトのうち、②、④、⑤、⑥、⑧に関連】

※学校評価アンケートで「学習に主体的に取り組んでいる」と回答する生徒・保護者 85%以上（前年生徒 81.1%、前年保護者 77.5%）

イ 高い志とチャレンジ精神を養い、幅広い視野と高い見識をもち、優れた判断力や創造力によって社会に貢献しようとする人材を育成する。【富士高エイトのうち、①、②、③、④に関連】

※学校評価アンケートで「生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と回答する生徒・保護者 85%以上（前年生徒 73.3%、前年保護者 86.0%）

ウ グローバル社会を生きるリーダーとして必要な国際感覚、人権感覚、高い品位と社会性を備えた人材を育成する。【富士高エイトのうち、①、⑤、⑥、⑦に関連】

※学校評価アンケートで「富士高生のモラルやマナーはよい」と回答する生徒・保護者 90%以上（前年生徒 94.3%、前年保護者 83.7%）

エ 地域との連携及び積極的な情報発信により、「開かれた学校づくり」を推進するとともに、働き方改革の趣旨を踏まえた効率的な業務の運営を図る。また、適切な事務の執行により教育環境の整備を図る。【富士高エイトのうち、①、③、⑤に関連】

※学校評価アンケートで「本校に入学して総合的に満足している」と回答する生徒・保護者 90%以上（前年生徒 90.5%、前年保護者 86.0%）

### 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	授業改善への取組と高い学力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業公開や予備校講座への参加等による教員相互の授業研究や研修、「高校生のための学びの基礎診断」を活用した生徒の学力等の把握・検証を通じ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に、積極的・意欲的に取り組む。</li> <li>● 総合的な探求の時間における探究活動（「心見考」）の実践や授業改善、主体的に学びに向かう力をはじめ、高大接続改革等に対応した高い学力の育成を図る。</li> <li>● 国及び県の推奨する保護者負担による1人1台端末の本格整備を踏まえ、全ての教科においてICT（タブレット）を効果的に活用した授業実践を推進する。</li> <li>● 新学習指導要領の本格実施に向け、授業改善につながる「富士高型観点別学習評価」を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「授業（分かりやすさ、意欲等）は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上</li> <li>● 「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%</li> <li>● 「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%</li> <li>● 「主体的に学習に取り組んでいる」と答える生徒・保護者 85%以上、「学校は生徒の学力向上に努力している」と答える生徒・保護者 80%以上</li> </ul>	教務 研修 学年 情報推進
		理数教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題研究の一層の充実を図る。</li> <li>● 県教委主催事業等の活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理数科生徒及び担当教員課題研究への満足度の向上</li> <li>● 各種行事生徒満足度 4.5 以上（満点 5.0）</li> </ul>	理数

イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	<p>将来を見据えた進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職場体験、進路講演会、大学訪問等により、主体的な進路選択ができる能力等を育む。</li> <li>● 入試検討会や校内研修会により、計画的な進学指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上</li> </ul>	進路研修
		<p>的確な進路情報の収集と分析及び生徒・保護者への提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種研修会への参加等を通し進路情報を収集し全職員で共有するとともに、生徒・保護者へ適切に提供する。併せて、共通テスト、個別学力試験等の研究に基づいた分析結果を、指導内容に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上</li> </ul>	
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	<p>基本的な生活習慣の確実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登校指導や声掛け指導により、「正しい服装」「時間の遵守」を徹底し、「挨拶」の励行を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上</li> <li>● 「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる（理解している）」と答える生徒・保護者 90%以上</li> </ul>	生徒
		<p>自主自立の精神、集団におけるモラル・マナーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動、学校行事、生徒会活動への積極的な参画を奨励するとともに、他者との関わりの中から集団におけるモラルやマナーを身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富士高生のモラルやマナーはよい」と答える生徒・保護者 90%以上</li> </ul>	生徒
		<p>国際感覚の涵養と交流啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍において可能な国際交流の手段を工夫かつ奨励し、国際感覚の涵養を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加</li> </ul>	研修
		<p>「命の大切さ」の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年生に対する初期指導とともに、被害者・加害者にならない指導を徹底し、自転車等による事故を防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車事故件数 15 件以下</li> <li>● 「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上</li> </ul>	生徒
		<p>人権尊重の精神の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富士高校いじめ防止基本方針」に則り、いじめを許さない意識の高揚を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いじめ0件</li> <li>● 非行等の問題行動0件</li> </ul>	生徒教育相談
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	<p>感性を育む活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 読書週間やコンクール等を有効活用し、読書活動を推進する。</li> <li>● 芸術鑑賞会の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校図書館の蔵書の貸出数 1800 冊以上</li> </ul>	図書
		<p>生徒の健康状態の把握と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎朝の健康観察により、生徒の健康状況を確実に把握し、養護教諭等と連携して早期に対応する。</li> <li>● スクールカウンセラー等を活用した教育相談体制の周知と充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上</li> <li>● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上</li> </ul>	保健環境教育相談
		<p>教育環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全点検・施設設備点検を行い、危険個所等の把握に努め改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習環境の改善・安全対策修繕 10 か所以上</li> </ul>	保健環境事務
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	<p>教育活動の積極的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校ホームページ等により、情報発信に努める。</li> <li>● 地域中学校との連携を図り、学校説明会、授業公開、中学校訪問などを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 週に 1 回以上、学校ホームページを更新する。</li> <li>● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80%以上</li> </ul>	研修教務情報推進管理職
		<p>不祥事根絶の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全教職員を対象とする校内研修を計画的に実施することにより、不祥事根絶への強い意識を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%</li> </ul>	管理職事務
		<p>地域と連携した防災活動 防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な場面を想定した実践的内容の防災訓練を実施する。</li> <li>● 広報活動を通じて防災に関する啓蒙を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80%以上</li> <li>● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50%以上</li> </ul>	総務

カ	適切な事務の 執行を行い、信 頼される事務室 を目指す。	適切な事務執行と予算の有効活用 ● 法令遵守を根本に、円滑な学校教育活動の実施を支援する。	● 監査における指摘0件 ● 経営予算執行残が0.5%未満	事務
		施設設備の保全と安全対策 ● 定期点検や早期修繕に努め、老朽化等による事故発生を防ぐ。	● 施設設備における事故発生0 件	
キ	働き方改革を踏 まえた業務改善 を推進する。	多忙化解消のための業務改善の推進 ● 目的に立ち返って学校行事等の意義を見直す。 ● 会議、印刷物等の縮減を図る。	● 1分掌1業務改善の提言	企画委員会
		健全な部活動の推進 ● 部活動の目的・意義を踏まえつつ、生徒・教員にとって無理の ない活動時間を設定する。	● 「部活動ガイドライン」の趣旨を 遵守している部活動100%	生徒
		教職員の健康を守る勤務管理 ● 教職員の休暇取得を励行する。 ● 定時退勤日を厳守し、職員室等で残留する業務を縮減する。	● 年休取得前年度比増(最低5 日以上)	管理職